

レッツ ICT

校内研究便り ①
平成31年4月19日
研究推進委員

1 研究推進部メンバー

K C Y M N S (M) よろしくお願ひします。

○研究分科会・・・低・中・高学年部会 専科 低：M先生 中：I先生 高：O先生

2 昨年度までの概要

昨年度までは、ICT化推進事業タブレット端末活用モデル校の1年目として、240台のタブレット端末が整備され、児童の学力向上を目指して理科・社会科・生活科で研究を進めてきた。タブレット端末が整備されたとはいえ、タブレット名人を育てることが目的ではないということ、先生方が共通理解し、研究主題を『21世紀型の学力を育む学習方法の研究』、副主題を「ICT機器の効果的な活用を通して」と設定した。

昨年度末の研究全体会において、学力向上を引き続き目指し、効果的なICT機器の活用をするという点からも、研究テーマの変更はしないということに決定した。しかし、教科指定での研究は、タブレット端末ありきで授業を考えてしまうという反省点から、教科は絞らず、21世紀型の学力（思考力・判断力・表現力等、協働力、問題解決力、（情報活用能力））からアプローチしていくこととした。児童が何を苦手としているのか、何を課題としているのか、またより高めたい力は何かを把握し、それらに対してアプローチのできる教科から児童の学力向上を目指していく。

（21世紀型の学力における三吾小としての定義）

問題解決を図るための

思考力・判断力・表現力等…○問題発見・解決に必要な情報を収集・蓄積するとともに、既存の知識に加え、必要となる新たな知識・技能を獲得し、知識・技能を適切に組み合わせ、それらを活用しながら問題を解決していくために必要な思考
○必要な情報を選択し、解決の方向性や方法を比較・選択し、結論を決定していくために必要な判断や意思決定
○伝える相手や状況に応じた表現 （文部科学省HPより）

協働力…ペア・トリオなど複数人で学習する際に、課題解決のために自分が出来ることを考えたり、友達と話し合って役割を決めたりして、お互いが得意なこと、できることを考えながら、児童の自主性の上に課題を解決していく力のこと。

情報活用能力…情報化が進展する社会の中で、情報や情報手段を主体的に選択し活用していくために必要な力

3 研究の進め方

○分科会の進め方

*低・中・高学年分科会で行う。専科は、分かれて各分科会に所属し、自分の教科で研究に関連する実践に取り組んでいく。

*分科会は、研推メンバーを中心に進めていく。

*①分科会テーマ ②分科会テーマに迫るための手立てを明確にして、提案する。

○研究授業の取り組み方

研究授業・・・研究授業時程の6時間目（1年のみ特別時間で5時間目）

事前授業・・・研究授業（本時）と同じ時間の授業を公開するだけでなく、本時に関連する授業を公開することも考えられます。

事後授業・・・事前授業同様

※7月までの研究授業と1月の研究授業の授業者は別の人で行ってください。

※該当学年は、研究授業に関する授業を全クラスで行い、できるだけ皆さんで授業を参観したいと思います。掲示板と朝会にて、日時などをお知らせください。（略案も）

※事前授業の1週間前に、授業の教材（教科書のコピーなど）を印刷・配布してください。

※該当学年は、協議の視点を明確化してお知らせください。

※指導案の書式は、これから提示します。研究集録を作る際、同じになるようにしたいです。

(1) 分科会で指導案検討



(2) 授業日の1週間前に指導案を講師の先生に送付



(3) 事前授業（掲示板などに日時を示す）



(4) 研究授業 協議の視点を明確にする（①教科指導面 ②ICT活用面）



(5) 事後授業（掲示板などに日時を示す）

該当学年は授業を全員公開してください。

4 今後のこと

研究授業日	学年（教科）
5/22（水）	4年（国語）
6/ 5（水）	6年（国語）
6/19（水）	5年（理科）
6/26（水）	2年（生活）
7/ 5（金）	3年（社会）
7/10（水）	1年（算数）
8月下旬（26. 27. 28?）	高橋先生ご講演
1月上旬（7. 8?）	高橋先生ご講演
1/21（火）研究発表会	1～6年各1学級

5 協議会について

付箋を活用していた協議会を、ロイロノートに変更してみようと思います。そこで、本日、練習してみましよう。